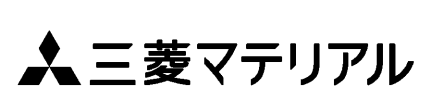


人と社会と地球のために、
循環をデザインし、
持続可能な社会を実現する

限りある資源を大切に使うために、使用済みの製品を資源として再生させる。
そこに新たな価値を付加し、再び社会に送り出す。
その循環のプラットフォームを構築し、自らプレイヤーとして価値を創出する。
そして未来に向けて、持続可能な社会の実現に力強く貢献し、循環の輪を広げていく。



第21回 LCA 日本フォーラム表彰

持続可能な社会の
実現を目指す

製品の環境負荷定量評価

脱炭素市場創出の基盤

LCA日本フォーラムはLCA(ライフサイクルアセスメント)の優れた活動を表彰する「第21回LCA日本フォーラム表彰」(後援:経済産業省、日刊工業新聞社)を選定し、1月27日に全国町村会館(東京都千代田区)で表彰式を開いた。最高位の経済産業省脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞に輝いた、とやまアルミニウム・とやまアルミコンソーシアムやJX金属、三菱マテリアルなど8件の企業・団体と、1人の功労者に各賞を授与した。世界的に脱炭素の潮流が拡大する中、複数の企業や産学官の連携でLCAを活用する動きが盛んになっている。

LCAは製品の資源採取から原材料の調達、製造、加工、組み立て、流通、製品使用、廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体における環境負荷を定量的に評価する手法。2030年をゴールとした国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成や50年のカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)実現に向けた取り組みが加速するにつれ、LCA手法の重要性はますます高まっている。

LCA日本フォーラムはLCAに関わる産業界、学会、国立研究機関の関係者が集まるプラットフォームとして、産業界管理協会が事務局を務める。1995年に設立され、2004年からLCAに関する優れた取り組みを「LCA日本フォーラム表彰」として顕彰している。

表彰式で同フォーラムの稲穂敦会長は「LCAはこれまで機運の高まる3回の波があった」と振り返り、「第1の波は1998年、国家プロジェクトにより、日本全体でLCA活動が開始したこと。第2の波は2008年にカーボンフットプリント(CFP)が登場し、温室効果ガス(GHG)削減に向けた取り組みが進んだ」と紹介。「第3



第21回LCA日本フォーラム表彰
表彰式・記念講演
主催:LCA日本フォーラム 後援:経済産業省・日刊工業新聞社

21回目となる今回は、24年8月5日から10月11日までの期間で募集が行われた。LCA日本フォーラム表彰選考委員会の審査を経て、12月に受賞者が決定した。富山県高岡市の「とやまアルミニウム・とやまアルミコンソーシアム」が最高位の経済産業省脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞に輝いたほか、LCA日本フォーラム会長賞3件、奨励賞4件、功労賞1人が選ばれた。

同賞の応募部門は「環境マネジメント・環境コミュニケーション部門」「研究活動・人材育成部門」「アウトリーチ・コラボレーション部門」の3部門。受賞者には、企業間データ連携によるDXアグリケー

最高位賞とやまアルミニウム・とやまアルミコンソーシアム

「DXプラットフォーム」と関係者の推薦に基づく「功労賞部門」の4部門となつている。応募は企業、工場、部門、団体、個人単位で可能。応募資格の柔軟性を持たせ、多様な視点から積極的な活動を取り上げられる。

経済産業省脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞の、とやまアルミニウム・とやまアルミコンソーシアムは「地域循環型アルミ産業網のグリーン化のためのDXプラットフォームの構築」とやまアルミコンソーシアムの「見える化」と「工程・企業間データ連携によるDXアグリケー

部門	受賞者	活動の名称
経済産業省脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞		
アウトリーチ・コラボレーション	とやまアルミニウム・とやまアルミコンソーシアム	地域循環型アルミ産業網のグリーン化のためのDXプラットフォームの構築 ~とやまアルミコンソーシアムのCO2排出量の「見える化」と「工程・企業間データ連携によるDXアグリケー
LCA日本フォーラム 会長賞		
アウトリーチ・コラボレーション	NTTデータグループ NTTアドバンステクノロジー NTTテクノクロス NTTコムウェア	ソフトウェア分野の脱炭素化に向けた業界連携活動
環境マネジメント・環境コミュニケーション	JX金属	銅のサステナビリティ向上を目的とした、需要家と共創するリサイクル促進スキームの提案とLCA手法の活用
環境マネジメント・環境コミュニケーション	三菱マテリアル	電気銅のカーボンフットプリント算定・第三者クリティカルレビューの実施と、家電リサイクルLCA
LCA日本フォーラム 奨励賞		
環境マネジメント・環境コミュニケーション	ヤマトマネキン	レンタル可能な環境配慮型仮囲い「スライドパネル」によるライフサイクルCO2削減の取り組み
研究活動・人材育成部門	帝人フロンティア	帝人フロンティアのLCAにおける取り組み
アウトリーチ・コラボレーション	アマホールディングス	「MEGURU STATION」を軸とした「MEGURU PLATFORM」の構築 ~産業と暮らしのサーキュラデザインの実現~
アウトリーチ・コラボレーション	長瀬産業	環境サステナビリティコンソーシアムにおけるCFP分科会の取組
LCA日本フォーラム 功労賞		
小松 郁夫 (PETボトルリサイクル推進協議会専務理事、元東洋製罐グループホールディングス)		

「CFP」見える化で産業界普及

富山県の「アルミ産業成長力強化戦略推進事業」の一環として活動する、とやまアルミニウム・とやまアルミコンソーシアムは、地元のア

「見える化」は、排出量を削減し、余剰熱を活用し、銅のリサイクルを低環境負荷で実現し、電気銅のCFPの算定に開示している点が評価された。

モノづくりで、感動を。

人と共に、そして360度の想像力で。

YAMATO CREATION

for humanscapes

私たちは、人と時代を大切にしながら、つくることを楽しみ、世の中に笑顔をもたらします。
人の想いが形になる場所。ここから、感動の未来がはじまる。

株式会社ヤマトマネキン / 株式会社ヤマトマネキン・ウエスト
株式会社ヤマトクリエーション横浜 / 株式会社河野店舗設計室
4社が一つになり、次のステージへ

株式会社ヤマトクリエーション
2025年3月1日発足

銅で未来にときめきを。

JX金属

銅って未来…
キュン!

てるるドウ

銅の妖精 カッパーくん

LCA日本フォーラム表彰

LCA日本フォーラムの運営は、一般社団法人産業環境管理協会が事務局を担当しております。

LCA日本フォーラム表彰とは、

「製品・サービスのライフサイクルから環境負荷削減に取り組む企業、組織、研究者を応援する」ことを目的とした表彰制度です。

- 企業単位、(企業の)工場単位、部単位、組織・団体単位、個人単位、どの単位でも応募できます。
- LCAの普及・定着、活性化をねらいとして、4部門を設置しています。自社・他社(他者)問わず、ライフサイクルシンキングの企業・組織活動への活用を表彰する『環境マネジメント・環境コミュニケーション部門』、普及・啓発・教育を表彰する『研究活動、人材育成部門』、組織外部との取組や協働を表彰する『アウトリーチ・コラボレーション部門』、LCAの発展に貢献した個人を表彰する『功労賞部門』を設けています。
- 地方組織、中小企業等の応募も歓迎いたします。
- 表彰された活動については、表彰記念セミナーで講演、取組みを紹介していただく予定です。

各賞名：経済産業省脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞 LCA日本フォーラム会長賞

LCA日本フォーラム奨励賞 LCA日本フォーラム功労賞



LCA日本フォーラム (JLCA) 事務局

一般社団法人産業環境管理協会内

〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目3番1号 幸ビルディング3階

Tel: 03-3528-8162 E-Mail: lca-project@jemai.or.jp

LCA日本フォーラム(略称: JLCA)は、我が国におけるライフサイクルアセスメント(LCA)に係わる産業界、学界、国公立研究機関の関係者が集うプラットフォームです。

LCA日本フォーラム表彰

銅のサステナビリティ向上を目的とした、需要家と共創するリサイクル促進スキームの提案とLCA手法の活用

JX金属

JX金属は銅の精鉱製錬における余剰熱を活用し、銅のリサイクルを低環境負荷で実現している。さらに電気銅のカーボンフットプリント(CFP)の算定を通じ環境負荷を定量的に開示している。

また、リサイクル率の大幅な向上にも取り組んでおり、その一環としてマスバランス方式による100%リサイクル電気銅の提案を開始。これはリサイクル原料を供給した顧客に対し、それに含まれる銅見合い量を100%リサイクル電気銅として返還するもので、高リサイクル率、信頼性の高い原料トレーサビリティ(履歴管理)や低CFPを同時に実現できる。

電気銅のカーボンフットプリント算定・第三者クリティカルレビューの実施と、家電リサイクルLCA

三菱マテリアル

三菱マテリアルは目指す姿を「人と社会と地球のために、循環をデザインし、持続可能な社会を実現する」と定めている。

銅製錬事業では国内で製造した電気銅のカーボンフットプリント(CFP)を評価、第三者

検証を実施して気候変動対策やステークホルダーとのエンゲージメント向上に活用する。

家電リサイクル事業では5社6工場での環境負荷削減効果を評価し、クラウド型のLCA自動算定システムを構築している。同社グループ事業の環境負荷評価と改善を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していく。

レンタル可能な環境配慮型仮囲い「スライドパネル」によるライフサイクルCO₂削減の取り組み

ヤマトマネキン

ヤマトマネキンは「モノづくりで、感動を。魅せる、の先へ。」をパーパスに掲げ、独自の「魅せる力」で環境負荷低減に向けたLCA手法を展開する。

建設業界で仮設資材の大量使用に伴う廃棄物

量やCO₂排出量の増加が課題となる中、レンタル可能な内装工所用仮囲い「スライドパネル」を提案。再利用設計により施工時間の短縮とコスト削減を実現している。

スライドパネルは製品のライフサイクル全体にわたる環境性能を可視化。環境負荷削減効果を直感的に理解できるデータを提示し、業界の意識改革を推進した点が評価された。

LCA日本フォーラム会長賞

奨励賞